
チルノに漫才やらせてみた

月見草

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

チルノに漫才やらせてみた

【Nコード】

N1752BA

【作者名】

月見草

【あらすじ】

チルノに漫才やらせてみた。ただそれだけです。無理やりなネタに注意！

（前書き）

霧の湖に住む最強レベルの妖精、チルノ。彼女のボケは一度出たらもう止まらない。ツツコミの大妖精は？をどう扱うのか！

登場していただきましょう！チルノと大妖精で“マイナスフェアリ”です。どうぞ！

チルノ

「はいどうも」

大妖精

「どうも初めまして！」

チルノ

「初めまして！チルノだよ！」

大妖精

「大妖精です！二人合わせてマイナスフェアリーです！よろしくお願ひします。ねーもう、漫才ですよ。大丈夫ですか？」

チルノ

「大丈夫！あたいをなめないで欲しいわね！」

大妖精

「ネタ覚えてる？」

チルノ

「覚えてるよ。今は尺稼ぎでしょ？」

大妖精

「言わなくていいよ！」

チルノ

「カギカッコの上に言った人書くのも尺稼ぎでしょ？」

大妖精

「言わなくていいって！作者なりの配慮！」

チルノ

「嘘がつかないのよ～あたいは正直だから」

大妖精

「困った子ねえ…」

チルノ

「改めましてあたいです」

大妖精

「名前を言って！この子チルノと言いまして、私大妖精と申します。よろしく願います」

チルノ

「顔だけでも覚えて帰ってちょうだい！」

大妖精

「できれば名前も願いますね」

チルノ

「でもあたい達、妖精として長いことやってるけど、なんか新しい人どんどん出てるよね～」

大妖精

「そうですね～。あの紅魔異変から多くの人が出てきて」

チルノ

「それで新しい奴も知つといた方がいいかな~と思って調べてみたんだよ」

大妖精

「いいことですね~。誰を調べたんですか？」

チルノ

「あの、八雲紫って知ってる？」

大妖精

「いや知ってるよ！知らなかったの！？」

チルノ

「こないだ稗田阿？に教えてもらったんだけど」

大妖精

「いや阿求ね！あの人バカじゃないわよ！小説だからできるネタね！」

チルノ

「紫ってのは、よーよーむで出てきたエクストラボスなんだけど」

大妖精

「内容合ってるけど漢字出てこないんだ！？」

チルノ

「友人がああの西行寺ゆーゆーこ」

大妖精

「妖々夢みたいになんていいよ！どんだけタイトルに影響されてんの！」

チルノ

「式がキツネの“や？もらん”」

大妖精

「八雲藍ね！“く”も“きゅう”も？になっちゃうんだ！？」

チルノ

「？尾のキツネで」

大妖精

「九尾ね！せめて漢数字くらい間違えないでよ！」

チルノ

「他にも友人に伊吹萃香って奴がいるけど」

大妖精

「そこは漢字出てくるんだ！？どうなってるのあなたの頭！？」

チルノ

「能力が“？界を操る程度の能力”」

大妖精

「境界ね！バカの世界を操るの！？」

チルノ

「？間に切れ目を入れて出てくんだよね」

大妖精

「いや空間ね！読みづらいわさっきから！」

チルノ

「簡単に言うと？一プ能力なんだよ」

大妖精

「ワープね！“ワ”も？か！」

チルノ

「うさん？さい奴で」

大妖精

「うさん臭いね！9歳のうさんみたいでしょ！中国人か！」

チルノ

「テーマ曲がネ？ロファン？ジア」

大妖精

「ネクロファンタジアね！“ク”も“タ”も？にしないでよ！暗号か！」

チルノ

「それで霊夢たちと：なんやかんやで知り合って」

大妖精

「ずいぶんはしょったね！いや“だんま？ごっこ”のボケ忘れたでしょ！大丈夫！？」

チルノ

「それで今度は満？の異変を解決しに行ったんだよね」

大妖精

「満月の異変ね！バカレベル最大級か！？月も？に見えるの？永夜異変の事でしょ！？」

チルノ

「は？れい霊夢と」

大妖精

「やっぱりか！博麗霊夢ね！」

チルノ

「それでか？や姫の…ラスボスなんて名前だっけ？」

大妖精

「そのままだよ！蓬莱山輝夜さんね！“ぐ”も？になるんだ！？」

チルノ

「…え？ほーらい？」

大妖精

「……わかった、こんどから人の名前はひらがなにして漫才しよう。難しい名前の人多いから」

チルノ

「うん！そうしよう！」

大妖精

「手間がかかるわねえ…」

チルノ

「それで今度は肝試しに行っただよね」

大妖精

「そうそう、あの不老不死の」

チルノ

「“ふじわら？もこう”と戦って」

大妖精

「ふじわら“の”もこう、さんね！“の”も？になるんだ！？横にしたら9に見えなくもないけど！」

チルノ

「その後ちよいちよい異変あつて」

大妖精

「また省いちやったよ！」

チルノ

「その後地底から出てきた怨霊退治のサポートをして」

大妖精

「地霊殿に攻め入った話ですね」

チルノ

「得意の？ープ能力が使えるんだよね」

大妖精

「ワープねだから！何だクープって！広島か！」

チルノ

「そのワー？で」

大妖精

「ワープだって！今度はプが？なの？ワークは仕事！」

チルノ

「地底でお？を倒したんだよね」

大妖精

「いやお空さんね！半分正解な気がするけど！」

チルノ

「さらには？面戦争も起こして」

大妖精

「月面戦争ね！ステージ9まである戦いか！？」

チルノ

「知ってるのはこれくらいかな。もっと知るためにはどうしたらいい？」

大妖精

「その前に寺子屋に行け！いい加減にしろ！どうも、ありがとうございました！」

(後書き)

うーん、やっちゃったなあ。お気づきの方も多いでしょう。漫才コ
ンビのナイツのネタが元です。

ひたすら？でボケまくってみたら面白いかなーと思って書いてみた
ものの難しかったです。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1752ba/>

チルノに漫才やらせてみた

2012年1月4日14時49分発行